

1. 教科の目標

- ・相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。
- ・経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。
- ・書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

2. 到達目標

観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	言語についての知識・理解・技能
目標	国語に対する関心をもち、話し合ったり、楽しく書いたり、楽しんで読書したりしようとする。	相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話したり、大事なことを落とさないで聞いたりする。	経験した事や想像したことなどについて、順序がわかるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書く。	音声、文字、語句、文や文章、言葉遣いなどの国語についての基礎的な事項について理解している。書写では文字の形、筆順、点画の接し方、交わり方などを理解して文字を正しく書く。

3. 年間指導計画

- (1) 相手に応じ、経験したことなどについて、事柄の順序を考えながら話すことや大事な事を落とさないように聞くことができるようにするとともに、話し合おうとする態度を育てる。
- (2) 経験した事や想像した事などについて、順序が分かるように、語や文の続き方に注意して文や文章を書くことができるようにするとともに、楽しんで表現しようとする態度を育てる。
- (3) 書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付きながら読むことができるようにするとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。

月	学習内容	学習のねらい
4	うれしいひ はきはきあいさつ おはなしききたいな	・絵の中から見つけたいろいろな言葉や、絵から想像したことを気軽に話し、話すことに慣れる。 ・あいさつの言葉を考えて、はっきりと話す。 ・場面の様子や展開を想像しながらお話を聞いて、お話の楽しさを味わう。
5	あいうえおのうた(あいうえお じをかごう ) あめですよ(ふたとぶた ) わがわがになる(ことばあそび ) はなししたいな(ねことねこ)	・言葉や文字に関心を持ち、ものと音、文字を結んで、語を書いたり平仮名を書いたりする。 ・言葉遊びを楽しむ、語や文字についての関心を高め、語の読み書きに習熟する。・自分のことを話しながら、正しく話すことに慣れる。
6	あひるのあくび(みんなであいうえお) てがみ(てがみをかこう おばさんとおばあさん) どうぶつのはなし(いしやといしゃ きいてきてよんでよんで、はへを)	・自分の体験を簡単な文で書き、手紙を書くことの楽しさを感じ取る。 ・登場人物の気持ちを想像しながら物語を読む。 ・表現に注意しながら、書かれている事柄を正しく読み取る。・経験したことから題材を選び友達や家族に話したり書いて知らせる。
7	おおきなかぶ ほんがよみたいな みんなにしろせよう	・お話のおもしろさを楽しんで読む。 ・読みたい本を探して読み、読書を楽しむ。 ・生活の中の出来事を絵と文で表現する。
9	かんじのはなし かぞえた(かずをあらわすかんじ) じゅうさくぶん	・漢字に対する興味・関心を持ち、漢字を正しく読み書きする。
10	おはなししたいすき(サラダでげんき) ことばあそびうたをつくらう どくしょかんそうぶん	・自分の経験の中から題材を選び、文で表現する。 ・お話の展開を読み取るとともに読んだ本のおもしろかったところを紹介する。・言葉遊びうたのおもしろさを知り、自分で考えて書く。 ・本を読んで心に残ったことをみんなに伝える文を書いたり、登場人物に自分の思いを伝える手紙を書いたりする。
11	のりもののかんじをしらべよう (いろいろなぶね) ようすをおもいうかべながら(おとうとねずみチロ) かたかなをかきましよう(ことばのひろば)	・乗り物に興味を持って、書いてあることを正しく読み取り、ほかの乗り物についても調べて発表する。 ・登場人物の様子を思いうかべながら読む。 ・なかまになることばを集め、それらをまとめて呼ぶことばについて理解する。
12	よく見てかごう (わたしのぼうげん) よう日のかん字をおぼえましよう(ことばのひろば) じゅうさくぶん	・身の回りの生き物の様子をよく見て文章を書く。 ・曜日の漢字、日付の呼び方を理解し、正しく読み書きする。 ・自分の経験の中から題材を選び、文で表現する。
1	いろいろなじゃんけんについてはなしあおう (じゃんけん)	・じゃんけんの仕組みを読み取り、いろいろなじゃんけんのやり方や仕組みについて話し合う。
2	おはなしをたのしもう はるのゆきだるま かたちをきをつけてかきましよう ことばのひろば	・様子を思いうかべながらお話の展開を読み取り、おもしろかったところを劇や音読で発表する。 ・字形の似ている漢字を区別して正しく読み書きする。
3	すきな本のかんじをかこう 本ともだち	・いろいろな本を読み、好きな本を絵や文を使って紹介する。

4. 評価の観点・方法

行動観察 取り組む様子 作品 音読 テスト カード 感想文 評価カード 発表の内容 振り返りカード  
ノート プリント

5. 保護者の方へのお願い

文章を正しくすらすらと読めることは、理解につながります。毎日の課題として音読を出しますので、聞いてあげてください。お子さんの伸びをしっかりとほめてあげてください。文字の練習では、ますいっばいに止め・はね・はらいに注意して、ていねいに書くように指導しています。ノートやプリントなど見てほめてあげてください。